

## 児童部会

(金森部会長)

こんばんは、児童部会を始めたいと思います。

支援事業計画における量の見込み及び確保方策について事務局より詳細をお願いします。

(事務局)

「資料 平成 28 年度の学童利用見込み」に基づき説明

(金森部会長)

和光で学童をすると聞いたのですが、たりなかったのですか。

(事務局)

市の基準として 20 人以上の子どもが集まれば開設できます。和光の支援センター 2 階で学童をしたいと話があったので扇が丘高橋町の児童の方に是非ご利用いただければと思い、菅原クラブと和光さんにもご協力をお願いしています。学校から離れるのが少し心配と思う保護者の方もいらっしゃると思いますが、市としては応援して運営していただければと思っています。

(委員)

和光さんのホームページを見ていると月曜日はダンス、ウォーミングアップ、火曜日は英語と、様々なプログラムが組まれておりお金がかかる、学童保育としてどのようにお考えですか。

(事務局)

学童クラブは塾ではない、放課後の居場所作りということで運営してくださいとお話しています。

既存のすがはらクラブは子育て支援センターと併設しており、センターでは病後児の子どもが休み、隣で元気な学童の子どもがいるということは運営的にも困難でしたので、現在菅原小学校の北西側に建設を進めております。本来ですともう少し大きいクラブが好ましいのですが、菅原の人口を考慮し 3 クラブの施設となりました。今年は富陽、来年御園、その次は館野を計画しております。

(金森部会長)

見込みから見ると平成 31 年度まで、まだまだ足りないのでは。

(事務局)

児童数からの見込みは見れたのですが、入所割合が 30% 近くなりましたので。

(金森部会長)

低学年 3 年生までから 6 年生までに広げたのが要因でしょうか。

(事務局)

いままでは概ね 10 歳未満の子どもが学童保育の対象でしたが、平成 26 年の児童福祉法の改正により、小学生全員の受入となりました。

(金森部会長)

児童数が増えるところで割合が増えれば当然合わなくなるのではないのでしょうか。

(事務局)

県内でも学童を建設するのは野々市と白山市、とくに鶴来、美川あたりが増えてきているそうです。野々市は嬉しいことに児童数が増えてきております。まだまだ富陽校下では区画整理や宅地開発、また郷地区や蓮花寺にもそのような計画がありますので、10～15 年は更に学童が増えると思われます。子どもを持った世帯の転入、新築が多いので計画の修正も今後見越して事業を展開していかなくてははいけません。

(委員)

予算もない、増をしていくという中で、量の見込みや施行について何を話しすればいいのでしょうか。

(事務局)

今日の会議は報告だけですが、今後計画の修正を議題として挙げていきます。また予算にも関係してきますので、今回は今までの実績を見た報告、来年度の展望ということでその次にどういった方策、ここにはもうひとつ学童を作らなくてはいけないとか、その対策、野々市の条例での学年上限も視野に入れて議題にしていきたいと思っています。

(委員)

学童を建てる際の距離的なもの、和光や旧あわだ保育園についても距離的に遠いので、入居希望者が少なくなるのは当然で、場所的なことも考慮しておかなくてははいけないのではないのでしょうか。土地は市のもの、既存の建物で利用できるとか、改築したら出来るとか、そういうことも含めて議論していければ。

(事務局)

子どもを預けるには近いところがいいと勿論思います。旧あわだ保育園は高学年の方への代替施設として考えておりました。新しい富陽の学童が出来れば廃止にする予定です。御園小校下にあるきのこクラブは本町6丁目にあり、御園小校下ではないです。そこも含めて、出来れば28年度には29年度の建設の場所や規模などを今後皆さまとともに検討していきたいと思っております。出来れば予算編成前の8～9月くらいに一度お話しさせていただければと思っております。また、たちのも学校から離れていますが近くに公園があるなど、環境的にはいい所です。ただし学校から逆方向にお迎えに行かれる方もいるので翌々年度に建設させていただければと思っておりますし、前倒しの予算等があればそこでも検討していきたいと思っております。

(委員)

校区ごとに学校と保護者の代表と学童の指導員の3者でつめた方が一番いいですね。

(事務局)

富陽は学童を建てるのですが、どこが運営していくかについて今年公募により運営母体を決めていきたいと思っております。施設整備に関しておおまかな意見をこちらで決めてお

話しをしていければと思っております。

(委員)

たちのクラブの下第2ですが、女子のトイレが1個、男子トイレが2つ、同一箇所にあるトイレに行くのも大変、生活環境も厳しい、2階は自分たちでトイレを作ったが小学校のように男女別でもないし手洗い場もひとつしかない厳しい環境を現場のものでどうにかして生活している現状です。子どもたちにもう少しいい環境であればと思いますし、6年生も来年度残るので、高学年が残ることは低学年にもいい影響になります。6年生の活動の部屋もあったらいいとか、ひといきつけるような所があればいいとか、着替える場所についてなど、普通の生活をしてほしいと思っています。子どもたちにしわよせがきている時代なので、よろしくお願いします。

(事務局)

今後子育て会議というのは、子どもに関する施策の諮問機関でありますので、その辺をまた皆さんでお話ししていければと思っております。

また、今年の増員は想定外でした。量の見込みを修正しながら施策に取り組んでいかなくてはならないと思っています。学童に関しては31年度の見込みよりもはるかに多い数字ですので、共稼ぎや核家族の影響かと思われます。

(金森部会長)

シングルの増加も著しいのではないのでしょうか。

(事務局)

野々市のひとり親家庭が500世帯いるわけですが、近隣に比べると割合が多いです。

虐待、要保護児童も比例しているような気がします。虐待も223件の事例があります。これも割合から言えば金沢より多いです。

(金森部会長)

新築でも祖父母と暮らす方が少ないのでしょうか。

(事務局)

少ないです。

(金森部会長)

0歳児から1年生まではお母さんが家にいて少し落ち着いたら仕事をするなど、新居を建てた家庭は学童に来るという方がほとんど。建築があればその子が入ってくると、そして下の子も来る、予想をはるかに上回るとのことです。

(事務局)

和光さんが学童をするのはすごくメリットがあります。こども園のお迎えのついでに学童も迎えに行けるということで、もっと申込みがあるという気がしていたのですが。それで成功したのがふじひらや今のあわだです。保育園併設みたいな形で施設があり、ものすごくいいと思っています。学童と保育園、また最近金沢市や都会では児童館が学童と併設しております。

(金森部会長)

平和町の保育園は病院の看護師の子どもが多いので、そこは学童を持っていますよね、そういう意味では働く人にとっては都合がよくできている。保育園+学童が出来るようになればもう少し違うかなと思います。

(事務局)

保育園も 0～6 歳まで 2,000 人くらいの子どものを保育するとなれば、学童も極端に言えばそれぐらいになるのかなと思います。

(金森部会長)

学童のお迎えだけではなく、子どもの放課後を含めて市として考えておかないと。

虐待について南加賀の研修会があったが、虐待については皆がお手上げで、2人で 200 件程を担当している野々市は限界を超えている、それではチームとして子どもを見れないので心配です。

学童の量質の問題と、SOSを発する子どもの対応も含めてやらないと大変だと思います。量と質をどのようにカバーしていくか、高学年をきってしまうと人数はやりやすいが、学童側からすれば大きい子どもがいるというメリットもあるわけですので。

(事務局)

先程のトイレの問題も6年にもなると大人ですからそういう面においても考慮しなくてはいけないと思います。本日は概要ということと、今までの報告のような形になりましたが次回は皆さんに諮問機関としてのご意見をいただきたいと思います。

(金森部会長)

その他にご要望など含めてご意見ありますか。では本日はこれで終了いたします。お忙しい中ありがとうございました。

これで第2回目の子ども・子育て会議を終わります。

以上